

簡易な収入見込額の申立書（扶養義務者等用） 【家計急変者】

記入例

- 「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）」、「簡易な収入見込額の申立書（申請者本人用）」と一緒に御提出ください。
- 下記にある【要件】を満たす場合に支給の対象となります。
※申請者本人の年間収入見込額も勘案して支給を決定します。

①申請者の生活を経済的に支えている方の属性にチェック（☑）の

父母 祖父母 子 孫 配偶者

氏名 草津 一郎

原則、申請者本人と同じ月としますが、繁忙期が異なるなど、実態に合わない場合は別の月でも構いません。

②令和2年2月以降の任意の月の収入（1か月）の申立書提出月の合計額

令和4年5月		注意事項	
収入内訳			
給与収入【a】	1 0 0 0 0 0 0	円	※給与収入がある場合に御記入ください。 ※給与明細書などの収入額が分かる書類を御提出ください。
事業収入または不動産収入【b】		円	※事業収入がある場合に御記入ください。 ※事業収入の収入額が分かる書類を御提出ください。
年金収入【c】	1 5 0 0 0 0 0	円	※遺族年金、障害年金、労災年金などの支給額を御記入ください。
収入合計額【d】	2 5 0 0 0 0 0	円	※収入内訳の収入額の合計額を御記入ください。

・この金額を証明する給与明細書などの写しが必要です。
・「振込額（手取り額）」ではなく、「総支給額」を記入してください。

計算誤りがないか確認

・この金額を証明する年金額改定通知書などの写しが必要です。
・1か月分の金額を記入してください。（小数点以下切捨）

③②の収入合計額を12倍した金額を御記入ください。

年間収入見込額 3 0 0 0 0 0 0 円

④①の方が生計を同じくし養っている親族の氏名を御記入ください

フリガナ	氏名	該当する場合は○ 70歳以上（配偶者以外） の親族	フリガナ	該当する場合は○ 70歳以上（配偶者以外） の親族
クサツ ユウコ	草津 優子	○		

配偶者以外で、70歳以上の人の場合○

申請者の扶養義務者であっても、この例のように、誰かに扶養されている方は、当申立書の提出は不要です（その方が、非課税の公的年金等（遺族年金、労災年金など）を受給されている場合は、市まで事

⑤④で御記入いただいた人数に基づき計算を行ってください。

④の人数にチェックしてください。	基準額	【要件チェック】	
<input checked="" type="checkbox"/> 0人	3,725,000円	i 左側で選択した基準額	4,200,000円
<input checked="" type="checkbox"/> 1人	4,200,000円	ii ④の○の数×60,000円	0円
<input type="checkbox"/> 2人	4,675,000円	(○以外の氏名がない場合は、○の数を1つ減らして計算)	
<input type="checkbox"/> 3人	5,150,000円	収入基準額 (i + ii)	4,200,000
<input type="checkbox"/> 4人	5,625,000円		
	6,100,000円	○以外の氏名がないので○の数を1つ減らす（ここではゼロになります）	√
	円	年間収入見込額 ③	3,000,000

チェック箇所には誤りはないか確認

○以外の氏名がないので○の数を1つ減らす（ここではゼロになります）

収入基準額 (i + ii) > 年間収入見込額 ③ になっているか確認

→【要件】③の年間収入見込額が収入基準額より低いこと。
※【要件】を満たさない場合でも、「簡易な所得見込額申立書」の要件を満たすことにより支給の対象となります。

【確認事項】（各項目のチェック欄（□）に『✓』を入れていただき、氏名を御記入ください。）

- 【要件】に該当します。 収入額が異なる書類（給与明細書や年金額改定通知書等）を提出しています。
- 今後1年間に収入の多い時期がある、臨時の収入がある時期があるなどの事情により、今後1年間の収入見込額が収入基準額を上回ることが明らかであるものでないことをお断り申し上げます。
- 給付金の支給要件の該当性等を審査等するため、市が口座振替情報や税情報、公的年金情報等の公簿等の確認を行うことや必要な資料の提出を求め、提供することに同意します。
- 本申立の内容に相違ありません。

**すべてにチェック
をしてください。**

日付(提出日)・氏名
を忘れず記入

令和●年 ●月 ●●日

申請者氏名 草津 花子

扶養義務者氏名 草津 一郎